こんにちは 加藤ひろし です

第76号

私の活動地域
晴海・勝どき・豊海町
築地・浜離宮庭園

くらしや区政のご相談
お気軽にお電話ください
３５５１－６８２０（事務所）
３５３３－０５８３（自宅）

日本共産党中央区議会議員　私のブログもご覧ください『こんにちは加藤ひろしです』で検索！

新しい年、安倍暴走政治ストップ！ 力をあわせて「国民こそ主人公」の政治実現を

新しい年２０１６年がスタートしました。お元気で新年をお迎えでしょうか。

今年７月には参議院議員選挙が行われます。安倍政権の暴走政治をストップし、憲法のもとで政治を行う立憲主義、平和主義、民主主義を守る「国民こそ主人公」の政治に転換する機会です。力をあわせて、新しい政治をつくりましょう。いつにもまして、お力添えをお願いします。私は、これからも区民の切実な要求を実現するために全力を尽くしてがんばります。ご支援・ご協力をよろしくお願いします。

安倍首相「憲法の明文改憲」に執念

安倍晋三首相が年頭会見（４日）以来、憲法の条文そのものを変える明文改憲に強い執念を示し続けています。自民党改憲草案（「日本国憲法改正草案」）にある「緊急事態条項」の創設などを、夏の参院選の争点にする構えです。

安倍首相は10日放送のＮＨＫ番組・党首インタビューで、参院選で自民、公明両党のほか、おおさか維新の会など改憲に賛同する勢力で改憲発議に必要な３分の２の議席確保を目指す意向を示しました。

さらに12日の衆院予算委員会では「当然、来るべき選挙でも政権構想の中で憲法改正を示す」と踏み込みました。15日の参院予算委員会では「緊急時に国民の安全を守るため、国家、国民がどのような役割を果たすか、それを憲法にどう位置づけるか、極めて重く大切な課題だ」と述べ、「緊急事態条項」の創設を明文改憲の突破口に位置づける考えを示しました。

世論との矛盾「モチ食って怒り増す」

戦争法強行後、自民党内から「国民はモチを食えば忘れる」という声が出されていましたが、異例の１月４日召集となった今通常国会の初日には国会前に３８００人もの市民が集まり、「モチ食って怒り増す」などのプラカードが掲げられました。世論調査でも依然として戦争法（安保法制）「反対」が過半数を占め、憲法学者らの「違憲」の指摘も続いています。「安保法制廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」をはじめ、参院選での野党共闘で戦争法・改憲推進勢力を少数派に突き落とすたたかいは、全国に広がりつつあります。

戦争法は「従来の政府解釈の範囲内」とされており、地球規模での米軍との協力を進めるとはいえ、憲法９条との深い矛盾と制約を抱えています。例えば、ＰＫＯ（国連平和維持活動）の任務拡大で実施される可能性のある「駆けつけ警護」は、紛争地域の流動的な情勢のもとで９条の禁じる武力行使となる危険をはらみ、誤射で市民を殺傷した場合の責任など不明確な要因を抱えます。

平和と国民の命を危険にさらし、立憲主義をふみにじる戦争法は、一刻も早く廃止させましょう。

裏面に「統一署名」を掲載しました。署名のご協力をお願いします。

「戦争法の廃止を求める統一署名」にご協力を

日本共産党中央区議団ニュース
2016年1月上旬号　中央区築地１－１－１
電話３５４６－５５６３，ＦＡＸ３５４６－９５７０